

今昔物語



名前 森山新一 (もりやましんいち)
 出身 福岡県
 性格 几帳面と雑をあわせ持つ！
 口癖 「違うだろ～」
 趣味 釣り
 夢 釣りばかりをして余生を過ごす



入社当時の思い出
 当時 24 歳、周りに若い石材メーカーの営業が少なく
 「なんでこの業界に」ってよく言われていました

名前 土橋 実 (つちはしみのる)
 出身 兵庫県神戸市
 性格 短気のわりには臆病者
 口癖 「早よせなあ」
 趣味 読書
 夢 いつかアフリカに行きたい！



秘密 ○○隠し用の粉が汗で流れてきて
 額がシマウマ状になっていた
 入社当時の思い出
 尺貫法・換算法をなかなか理解できなかった事

名前 星野高康 (ほしのたかやす)
 出身 広島県尾道市因島
 年齢 53 歳
 身長 6 尺 1 寸 (体重 1.2 才くらい...)



入社して 30 年を迎えます。入社当時はバブルの後半で、
 関西小売店さんからお墓の注文がどんどん入り、墓石を
 10 t 車に 200 才以上 (積載の 2 倍) 積んだ石車が積み替えて
 ひしめいていました。まさしく市場は、建立バブル。
 しかし入社 3 ヶ月目の私は、その活況とは正反対、
 板石一枚売れませんでした。毎日、朝・昼・晩社長 (現会長) に電話。
 売れないから怒られるその繰り返し...6 ヶ月経ったある日耐え切れず
 このままでは給料泥棒になってしまう、
 自分は営業に向いてない... そう思い辞表を出しました。

辞表を出して鳴本社長から
 「約束したじゃないか 1 年間は辞めるな！」と...
 そんな約束はしていないと思いましたが、強く慰留され
 気持ちを切り替え頑張ることにしました。それから 2 ヶ月後、
 「商談しても売れないんだから体を使って来い」と言われ、
 岡山の石屋さんの現場手伝いに行きました。
 それは、それは、真夏のとにかく暑い日でした。
 現場から帰ってきて石屋さんの奥さんが「暑かったでしょ？
 そうめんでも食べて帰んなさい」と言われ、
 一人夕日を見ながらそうめんを食べていると、その社長が
 「あんたそこには”若木”があるんか？」と聞かれ即答しました。
 「じゃあ 9 寸 2 組 尺角 2 組作ってくれ」と言って立ち去られました。
 それが私にとっての初受注でなんと同時に 4 組もの注文を頂きました。
 それはもう～嬉しくて嬉しくて泣きながら、そうめんを食べたことを
 今でも忘れられません。その後、鳴本社長に受注の報告をすると
 「そうか～よかったのう」と自分の事のように喜んで頂きました。
 諦めて辞表を出したあの時、辞めていたらこの達成感を
 感じる事が出来なかったのではないかと改めて感じます。



座右の銘

”努力と継続は

決して裏切らない！！”

ちょっとおかしな
1日♪♪



関西 BBQ

サマーキャンプ



小学生となるもっちー



社内ランチ

